

オーケストラ・キャラバン～オーケストラと心に響くひとときを～

東京フィルハーモニー交響楽団

飛騨市特別公演

オーケストラ。 そこには生の感動がある。



©上野隆文

指揮: 円光寺雅彦 チェロ: 山崎伸子* 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団



©K.Miura



©武藤章

2022年

7.18 (月・祝) 14:30開演(14:00開場)

飛騨市文化交流センター
スピリットガーデンホール

飛騨市文化交流センター開館15周年記念

モーツァルト: 歌劇『フィガロの結婚』序曲

チャイコフスキー: ロココの主題による変奏曲 ^{イ長調*} Op. 33

ベートーヴェン: 交響曲第5番 ^{ハ短調} Op. 67 『運命』

【チケット発売日】 6月4日(土)

- ・ガーデンメイト先行販売 9:00～(会員カードが必要です/飛騨市文化交流センターのみ)
- ・一般発売 13:00～

【プレイガイド・お問い合わせ】

■ 窓口販売

- ・飛騨市文化交流センター 0577-73-0180 9:00～20:00(休館日:月曜日および祝日の翌日)
- ・高山市民文化会館 0577-33-8333 8:30～20:00(休館日:第1・3・5月曜日および祝日の翌日)
- ・船津座 0578-83-0151 9:00～17:00(休館日:火曜日)
- ・下呂交流会館アクティブ 0576-25-5000(休館日:水曜日)

※一般の方は東京フィルチケットサービス以外での電話申し込みはできません。

※ガーデンメイト会員の方のみ、飛騨市文化交流センターで6月4日(土)12:00から電話予約が可能です。

■ 電話でのお申し込み

- ・東京フィルチケットサービス 03-5353-9522(10:00～18:00・土日祝休み)*6/6[月]より発売

■ インターネットでのお申し込み

- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:219-052) *6/4[土]13:00より発売

チケット料金(全席指定・消費税込)

S席4,000円 A席3,000円 学生席1,000円
(高校生以下)

※出演者・曲目に変更が生じる場合があります。その場合のチケットの変更、キャンセル、払い戻しはできません。※就学前のお子様の同伴・入場はご遠慮ください。※新型コロナウイルス感染症予防対策(マスク着用、手指消毒など)にご協力くださいますようお願いいたします。

主催: 公益社団法人 日本オーケストラ連盟/公益財団法人 東京フィルハーモニー交響楽団

共催: 特定非営利活動法人ひだ文化村/飛騨古川音楽文化協会

後援: 飛騨市/飛騨市教育委員会/岐阜新聞社 岐阜放送/中日新聞社



文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業
(コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業)



飛騨市文化交流センター

伝説のオーケストラ・コンサートが“精霊の庭”でよみがえる!

“オーケストラ。そこには生の感動がある”—有志7人による熱いスローガンのもと、42年前の1980年(昭和55年)9月17日、飛騨古川音楽文化協議会主催により、飛騨古川初のオーケストラ公演「東京フィルハーモニー交響楽団演奏会」が開催されました。会場の古川小学校体育館は1,800人もの人々で埋め尽くされました。

音楽は、民族、国境を越えた世界共通の言語だと言われています。喜びにつけ、悲しみにつけ古来、世界中の人々が音楽を楽しみ、音楽によって慰められて参りました。美しい音楽は、人々の心に強い感動を呼び心の安らぎと美しいものへの憧れをよび覚まし、より良い明日への活力を与えてくれます。文化の薫り高い町づくりを目ざしている、わが町にとって、東京フィルが撒いた一粒の種子が、この地に根ざし、美しい花をつけ、実を結ぶようとなることを念願してやみません。(同公演プログラム掲載の古川町長・中村利兵衛氏「ごあいさつ」より一部抜粋)

この時撒かれた一粒の種子は、飛騨古川の人々の手で大切に育てられ、飛騨市文化交流センターへと結実します。このたび東京フィルはホール開館15周年*を祝し、伝説の初公演で名指揮者・大町陽一郎氏とともに披露した『フィガロの結婚』序曲と『運命』、そして飛騨室内楽セミナーでもおなじみのチェロの名手・山崎伸子が奏でるチャイコフスキーの協奏曲を、円光寺雅彦による円熟の指揮でお待ちしております。どうぞご期待ください。

*当公演は新型コロナウイルス感染症対策による延期を経て開催いたします。



大町陽一郎
(1931- 2022)



©K.Miura

円光寺 雅彦(指揮)

Masahiko Enkoji, conductor

桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を斎藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。1980年ウィーン国立音楽大学に留学しオトマール・スウィットナー氏に師事。これまでに東京フィル指揮、仙台フィル常任指揮者、札幌交響楽団正指揮者、名古屋フィル正指揮者などを務め、数多くの公演を共にしながらオーケストラの飛躍的な発展に貢献してきた。N響、読響、新日本フィル、東京フィル、東響、大阪フィル、九響をはじめとするほとんどの国内オーケストラ、海外ではプラハ響、BBCウェルズ響、ベルゲン・フィル、フランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と適確な指揮で多くの聴衆を魅了。テレビ等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍が続いている。



©武藤章

山崎 伸子(チェロ)

Nobuko Yamazaki, cello

桐朋学園大学音楽学部卒業。第1回民室内楽コンクール第1位、第44回日本音楽コンクール第1位。日本国内の主要オーケストラとの共演、リサイタル、また、イギリス室内管、スイス・ロマンダ管、バンベルク響のソリストに選ばれるなど活躍。2007年より10年にわたり、チェロ・ソナタ・シリーズを開催し、同シリーズ4枚目のライブCDが第49回レコード・アカデミー賞<室内楽部門>を受賞。2017年よりフィリアホールにて山崎伸子プロジュース「未来に繋ぐ室内楽」と題して、若手演奏家の室内楽シリーズを開催。1987年「村松賞」、グローバル音楽賞第1回奨励賞、2012年度「東燃ゼネラル音楽賞(現:ENEOS音楽賞)」奨励賞受賞。現在、桐朋学園大学特任教授、東京藝術大学名誉教授。使用楽器はヒエロニムス・アマティ1641年製。

東京フィルハーモニー交響楽団

Tokyo Philharmonic Orchestra

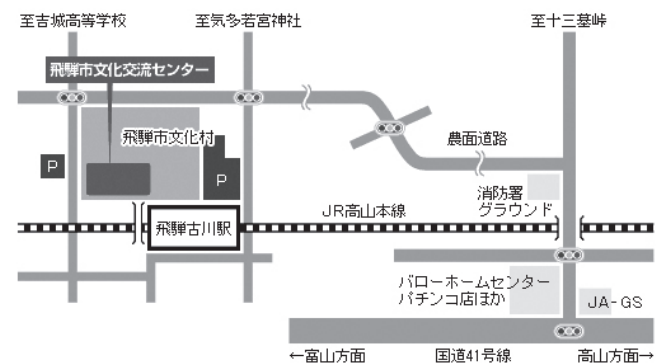


©上野隆文

1911年創立。日本で最も長い歴史をもつオーケストラ。メンバー約160名、シンフォニーオーケストラと劇場オーケストラの両機能を併せもつ。名誉音楽監督にチョン・ミョンフン、首席指揮者アンドレア・バッティストーニ、特別客演指揮者にミハイル・プレトニョフを擁する。Bunkamuraオーチャードホール、東京オペラシティ コンサートホール、サントリーホールでの定期演奏会や「渋谷／平日／休日の午後のコンサート」等の自主公演、新国立劇場等でのオペラ・バレエ演奏、『名曲アルバム』『NHKニューイヤーオペラコンサート』『題名のない音楽会』『東急ジルベスターコンサート』『NHK紅白歌合戦』などの放送演奏により、全国の音楽ファンに親しまれる存在として高水準の演奏活動と様々な教育的活動を展開している。海外公演も積極的に行い、国内外から高い評価と注目を集めている。2020～21年のコロナ禍における取り組みはMBS『情熱大陸』、NHK BS1『BS1スペシャル 必ずよみがえる～魂のオーケストラ～』などのドキュメンタリー番組で取り上げられた。1989年よりBunkamuraオーチャードホールとフランチャイズ契約を結んでいる。東京都文京区、千葉県千葉市、長野県軽井沢町、新潟県長岡市と事業提携を結び、各地域との教育的、創造的な文化交流を行っている。

飛騨市文化交流センター

〒509-4221 岐阜県飛騨市古川町若宮2丁目1番63号
TEL: 0577-73-0180



©梅田正明



東京フィル
ハーモニー
交響楽団
公式サイト